



完全学校週5日制についてのアンケート結果

完全学校週5日制が定着し、子どもたちも落ちついた週末を過ごしているように見受けられますが、市教育委員会では、本年も子どもたちの休日の過ごし方を調査しました。この調査も3年間継続してきましたので、今回は3カ年の比較をしてみました。

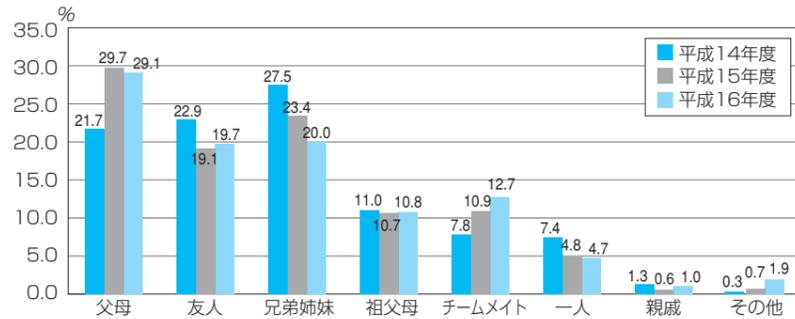
●調査期間：平成16年10月20日～11月17日

●調査対象：市内小学校4・6年生（785人）、中学校2年生（406人）とその保護者

■児童・生徒へのアンケート調査から（抜粋）

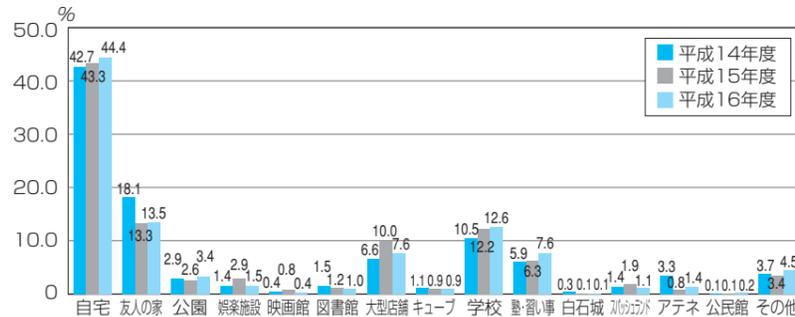
設問1 土曜・日曜日の過ごし方について

①おもに誰と過ごしていましたか？



●家族(父母・兄弟姉妹・祖父母)と過ごしていることが大半ですが、兄弟姉妹と過ごすことが減少し、チームメイトと過ごすことが増加しています。

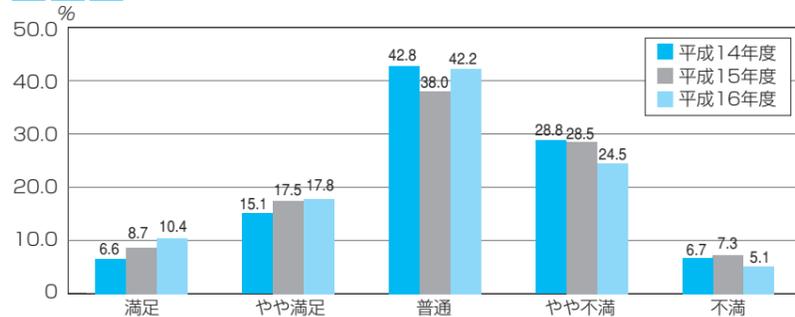
②おもに過ごした場所はどこですか？



●全体的に約6割が「自宅」「友人の家」などの室内で過ごしているようです。「図書館」「アテナ」「公民館」などの公的施設があまり利用されていないようです。

■保護者へのアンケート調査から（抜粋）

設問2 お子さんの土曜・日曜日の過ごし方をどう思いますか？



●「普通」を含めると全体の約7割の保護者の方は、おおむね満足されていて、「不満」と思われている保護者の方は、年々減少しているものと判断されます。

総評

全体的に家族と一緒に過ごす傾向が見られます。また、室内で過ごすことも多いようです。しかし、「どんな事業があったら参加したいと思いますか？」という設問に対しては、「野外活動（キャンプ・ハイキング）」「スポーツ活動」などの体を動かす活動の希望が合わせて約5割という結果が出ました。このことを踏まえて、今後の事業展開に反映させていきたいと考えています。さらに、公的施設があまり利用されていないようですので、公民館・図書館の事業内容を見直しして、利用しやすい施設となるように検討していきます。

白石市立小原中学校



小原だからできる教育
小原にしかできない教育

学ぶ



- ・学習意欲の向上
- ・確かな学力をつけさせる
- ・毎朝10分間の読書
- ・家庭学習の習慣を育てる
- ・正規授業以外での課外学習時間の確保

教える



- ・数学は全学年複数の教師で指導
- ・保護者に各教科指導内容と方法を提示し、成果を報告
- ・指導力を高めるための授業研究会を年7回実施

地域参加



- ・地域の行事には積極的に参加
- ・地域住民を対象としたパソコン教室を主催する
- ・総合学習を通して「小原を学ぶ」

私たちの約束

学習意欲を高め、基礎学力を高めます。

- ◇数学は全学年T T指導で行います。
- ◇全学年の選択教科に数学と英語を採用します。
- ◇通常の授業以外にも個別補充時間を設けます。

教師の意識改革を進め、指導力を高めます。

- ◇教科指導のプロとしての自覚を高め、指導力の向上に努めます。
- ◇教科を超えた授業参観をすすめ、指導方法を磨きあいます。
- ◇IT社会に対応するため、コンピュータを積極的に活用します。

開かれた学校に努めます。

- ◇学校の情報公開を積極的に進めます。
- ◇地域を教材とした「総合的な学習」をさらに進めます。
- ◇地域への奉仕の心を育てます。

STAFF

校長 戸澤 雅夫	教頭 大沼 常次	社会(教務主任) 小野 和男	保体(3年主任) 保科 俊郎	音楽(2年主任) 小室 則子	数学(1年主任) 横山 俊昭	英語(3年担任) 高橋 智子	理科(2年担任) 川脇真知子	
養護教諭 松本 ミエ	国語(1年担任) 菊地ひとみ	市職員 佐藤 昭	事務長(兼務) 小岩 俊朗	美術(兼務) 小岩 章子	理科(非常勤) 鈴木 盛夫	家庭(非常勤) 横山ひろ子	臨時職員 四電 聖子	
							〈校医〉 内科 高橋 昌宏先生 眼科 大橋 利史先生 耳鼻科 柴原 勝平先生 歯科 高橋 卓一先生 薬剤師 佐竹美枝子先生	